資料1

これまでの富山県人口未来構想本部での議論を踏まえ

１　人口減少は県民生活全体に多岐にわたる影響を及ぼす重要な課題であるにもかかわらず、想定を超える人口減少が進んでいる。この本部では、次世代を通じて富山で暮らす一人ひとりが、将来にわたって自分らしく豊かで幸福な生活が送れるよう、対応策について全庁的に熟議を重ねる。

２　熟議にあたって、個人の生き方に関する事柄は、一人ひとりの価値観や希望に基づく自由な選択が尊重されるよう、十分に配慮する。その上で、希望を持ちながらも叶えられていない方々や潜在的な悩みを抱えている方々の存在を常に念頭に置くものとする。

３　今後の対応として、想定を超える人口減少の進行を抑制しつつ、現実的に予測される人口減少及び人口構造の変化が社会や経済に与える多面的な影響を見据え、その中でも機能する新しい社会経済システムの構築を目指す。

４　これらの対応策を立案する際には、EBPM（Evidence-Based Policy Making）の重要性をこれまで以上に強く意識する。